

市議会だより

東松島市
第51号

平成31年2月1日発行

宮城オルレ「奥松島コース」オープン



東松島市は政府からSDGs未来都市に県内で唯一選定されました。

- 矢本海浜緑地パークゴルフ場指定管理者の指定を委員会付託審査… P3
- 矢本駅前西地区複合施設指定管理者の指定を委員会付託審査… P3
- 補正予算 私立高等学校整備事業補助金を計上… P4
- 一般質問～13人が市政をただす…………… P6



議会映像配信サイト
QRコード



ホームページ <http://www.city.higashimatsushima.miyagi.jp/index.cfm/31.htm>
E-mail h-gikai@city.higashimatsushima.miyagi.jp
議会映像配信ページ <http://www.higashimatsushima-city.stream.jfif.co.jp>

発行/宮城県東松島市議会
編集/議会広報常任委員会



新年のあいさつ

東松島市議会議長 阿部 勝徳



新年おめでとうございます。
市民の皆様には、希望に満ちた新春を迎えられたことと心よりお慶び申し上げます。
また、常日頃より議会に対しまして深いご理解とご協力、ご支援を賜り厚く御礼申し上げます。

東日本大震災からもうすぐ丸8年を迎えます。振り返ってみますと、防災集団移転事業も順調に進み、災害公営住宅の追加整備分100戸も3月末に完成、4月には矢本海浜緑地に県内最大規模のパークゴルフ場が完成予定であります。また仮設庁舎で業務を余儀なくされていた東松島消防署鳴瀬出張所が野蒜ヶ丘に建設され、地域住民の火災・救急を始めとした各種災害時の確な対応ができるようになり、復興完結の道筋はついてきております。

さらにSDGs エスディーズ 未来都市に認定され、こども・若者・高齢者が全世代にわたって住みよいまちづくりを目指すことなど、本市の将来を見据え、輝かしい未来に向け、新たな第一歩を踏み出す一年でありました。

市議会といたしましても「開かれた議会」を目指し、議会改革に取り組み、議会基本条例の検証や議員定数と報酬等並びに政治倫理に関する調査を実施し、その課題解決に努力しているところであります。さらにホームページにおいて政務活動費領収書公開を実施することとしました。

人口減少・少子高齢化が進行する中においてまちづくりは、時代の流れとともに斬新な発想を必要としており、私たち議員にも新たな時代感覚と崇高なビジョンを持つて一翼を担っていくことが求められております。市民皆様の負託にしっかりと応え、市民一人一人が「このまちに住んで良かった」と実感できるまちづくりのため、今年も議員一同全力で取り組んでまいります。今後とも市民の皆様のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、この一年が皆様にとりまして幸多い年となりますよう、心よりお祈り申し上げます。年頭にあたっての挨拶といたします。

あけましておめでとうございます



後列左から	大橋 博之	櫻井 政文	佐藤 富夫	長谷川 博	熊谷 昌崇	滝 健一
中列左から	小野 幸男	小野 恵章	阿部 勝徳	阿部としゑ		五ノ井惣一郎
前列左から	石森 晃寿	上田 勉	手代木せつ子	齋藤 徹	土井 光正	熱海 重徳

議案第121号
(総務常任委員会付託審査)

**矢本海浜緑地パークゴルフ場の
指定管理者の指定について**



この議案は東日本大震災により被災した県立都市公園矢本海浜緑地に、市民の健康増進ならびにスポーツおよびレクリエーションの振興を図るために、パークゴルフ場を建設していましたが、民間活力を導入し、施設の管理運営を効率的に行い利用者へのサービス向上を図りたいという趣旨です。

し2団体から申請があり厳正な審査の結果、一般社団法人東松島みらいとし機構が採用されました。指定期間は平成31年4月1日～平成35年3月31日までの4年間です。総務常任委員会の採決の結果、原案可決すべきものと決し、本会議では、委員長報告があり、全会一致で原案どおり可決されました。

指定管理者の公募に際



▲来春のオープンに向けて建設工事が進行中
(平成30年12月、上浜橋より撮影)



▲健康増進の拠点としての中核施設

議案第122号
(民生教育常任委員会付託審査)

**東松島市矢本駅前西地区複合施設の
指定管理者の指定について**



審査は、二日間にわたる実施し、指定管理者候補者の(株)ダンロップスポーツウエルネスの類似施設の運営実績、収支計画書の状況、選定基準審査方法、評価の経過、仮契約書の内容について実施しました。

委員間討議においては、各委員から①使用者の平

等な利便性が確保されるよう事務の引き継ぎに万全を期すこと②協定書の確実な履行についての意見が出されました。

民生教育常任委員会の採決の結果、原案可決すべきものと決し、本会議では、委員長報告があり、全会一致で原案どおり可決されました。

**豊前市議会(福岡県)
友好都市交流 訪問**



10月27日、友好都市である豊前市を議長が表敬訪問し、豊前市議会議長はじめ、市長、教育長等と意見交換を実施しました。

翌28日、豊前市内で開催されたカラス天狗祭りに出席、議長があいさつしました。また、本市から友好都市特設ブースを出展し、豊前市の皆さまに東松島の味わいをお届けしました。

その後、豊前市内の「うみてらす豊前」や「求菩提資料館」を訪問し、豊前市の伝統文化への理解を深めました。



▲豊前市の皆さまの厚い歓迎に感謝申し上げます



▲大田区の友好都市、秋田県美郷町、長野県東御市とともに参加しました

**大田区議会(東京都)
友好都市交流 訪問**



11月3日、友好都市である大田区を議長が訪問しました。

ポートレース平和島で開催された「OTAふれあいフェスタ」の友好都市セレモニーに参加し、議長があいさつしました。大田区議会議員とは、意見交換を実施し、交流を深めることができました。また、友好都市特設ブースの本市特産品、旬の蒸し牡蠣販売を支援しました。

補正予算総額 13億6351万2千円の増額

私立高等学校整備事業補助金を計上(小野地区旧学校施設活用推進事業、2億5000万円の増額)



一般会計ほか6特別会計の補正予算を12月6日の本会議で慎重審議し、全会一致で原案のとおり可決しました。多数の質疑がありました。何点か質疑および答弁の内容をご紹介します。

①教育費、学校教育施設管理費、赤井・大塩小学校冷房機設置工事

Q 工事期間について。

A 春休み中も利用し早目に着手し、何とか6月末には完成させた。

②総務費、まちづくり推進費、赤井市民センター大規模改修工事

Q 工事内容について。

A 雨漏り対策を重点的に屋根と外壁の改修工事を予定している。そのほか、床仕上げ材や壁クロス張り替え、照明器具のLED化等の工事を行う。

③衛生費、健康増進センター費、修繕料

Q 修繕内容について。

A プールの深さを変える昇降機等が故障したことに伴うもの。

④総務費、防犯推進費、防犯灯設置工事

Q 設置場所等、内容について。

A 市道小松赤井線(三陸道石巻港インター)から石巻西高まで)の改修工事に伴い、32基設置するもの。

⑤商工費、観光費、観光施設維持管理事業

Q 内容について。

A オルレコースを再度視察、確認し、追加で整地を行うもの。



▲利用が検討されている旧鳴瀬未来中学校施設および敷地

12月補正予算質疑があった事業 (事業名) (単位:千円)

No.	款	事業名	補正額(増額)
1	教育費	小学校施設維持管理事業(建築)(赤井・大塩小学校冷房機設置工事ほか)	34,566
2	総務費	市民センター管理運営事業(建築)(赤井市民センター大規模改修工事ほか)	104,659
3	衛生費	健康増進センター運営事業(修繕料ほか)	3,369
4	総務費	防犯対策推進事業(防犯灯設置工事ほか)	9,124
5	商工費	観光施設維持管理事業(遊歩道関係ほか)	1,616

請願・陳情の受付一覧

(平成30年9月29日~平成30年12月17日)

- ・最低賃金の改善と中小企業支援の拡充を求める政府に対する意見書採択を求める陳情書
- ・「被災者生活再建支援制度の抜本的拡充を求める意見書」の採択を求める陳情書
- ・「安全・安心の医療・介護の実現と夜勤交替制労働の改善を求める意見書」採択を求める陳情書

- ・「看護師の全国を適用地域とした特定最賃の新設を求める意見書」採択を求める陳情書
- ・「介護従事者の勤務環境及び処遇改善を求める意見書」採択を求める陳情書
- ・「介護従事者の全国を適用地域とした特定最賃の新設を求める意見書」採択を求める陳情書
- ・日本政府へ「核兵器禁止条約の批准を求める意見書」提出に関する陳情書

請願・陳情をお出しになる方へ

市の行政などについて意見や要望があるとき、議会に請願や陳情を提出することができます。

Q&A

①提出できる人は、だれでも提出できます。

②提出の時期は、

随時受け付けておりますが、2月、6月、9月、12月の年4回開催される市議会定例会で審議されますので、各定例会が始まる前までに提出してください。

③請願と陳情の違いは、

◆請願は市議会議員1人以上の紹介が必要ですが、陳情は必要ありません。請願は担当の常任委員会等で審査をし、その審査結果をもとに本会議で採択(趣旨に賛成)、一部採択(趣旨の一部に賛成)、不採択(反対)かを決めます。採択された請願は、必要があると認める場合に、その結果を市長または関係機関に送ります。

◆陳情は請願と違い、紹介議員は必要としません

◆陳情は請願と違い、紹介議員は必要としません。なお、東松島市議会の場合、議会運営委員会での協議し、特に意見がない場合、各議員への配付および本会議での報告のみとなります。

また、この場合特に申し出がない場合、陳情者への報告等はありませんので、陳情を提出する際は、議会事務局までご相談ください。

請願・陳情を書くときの注意

- ①用紙はなるべくA4判を使用してください。
- ②請願・陳情者は、表題、趣旨、提出年月日、住所を書き、署名または記名し、押印してください。(法人では名称、代表者署名または記名し、法人印を押してください。)
- ③請願・陳情者が多数の場合は代表者を決め、署名簿を末尾につけてください。

12月(第4回)定例会可決議案

市長提出議案、全21件を全会一致で原案のとおり可決しました。議案の件名と主な内容は下記のとおりです。(※ほかの記事で説明している議案は省略しています)

議案番号	件名と主な内容
議案第112号	東松島市の議会の議員及び長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例の一部を改正する条例について …市議会議員選挙において、ピラを候補者1人につき2種類以内、4000枚を上限とし公費負担の対象とすることができるよう所要の改正を行うもの。
議案第113号	東松島市職員の自己啓発等休業に関する条例の一部を改正する条例について …職員が自発的に大学等の教育施設で修学する場合、2年以内に限り、勤務時間の一部を勤務しないことを承認することができる制度を追加規定するもの。
議員第114号	東松島市特別職の職員で常勤のものの給与及び旅費に関する条例等の一部を改正する条例について …市長、副市長、教育長及び議会議員の期末勤労手当支給月数を国の指定職の改定率と同率とし、3.30月分→3.35月分に0.05月分増とするもの。
議案第115号	東松島市職員の給与に関する条例の一部を改正する条例について …人事院勧告及び国家公務員の給与改定に準じ一般職員(労務職員含む)の期末勤労手当年間支給月数4.40月分→4.45月分に0.05月分増とするもの。
議案第116号	東松島市一般職の任期付職員の採用等に関する条例の一部を改正する条例について …再任用職員の期末勤労手当年間支給月数 2.30月分→2.35月分に、また特定任期付職員の期末手当年間支給月数3.30月分→3.35月分にそれぞれ0.05月分増とするもの。
議案第117号	東松島市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例について …放課後児童支援員の資格要件に、新たに専門職大学の前期課程を修了した者についても対象となるよう、要件を拡大するもの。
議案第118号	東松島市都市計画下水道事業受益者負担に関する条例の一部を改正する条例について …第8次認可区域(鳴瀬桜華小学校地区、石巻青果市場地区、柳の目西災害公営住宅地区)を受益者負担地区に加え、負担金額は第7次認可区域と同額にするもの。
議案第119号	(債)平成30年度赤井排水区(雨水排水)下水道函渠工事(その2)請負契約の締結について …東松島市赤井字川前一地内の仙石線の近接工事で制限付一般競争入札により仙建工業(株)が受注したもののオープンシールド機によるBOXカルバート工法。
議案第120号	平成29年度大曲浜地区被災市街地復興土地地区画整理事業造成工事請負変更契約(第3回変更契約)の締結について …東松島市大曲字下台地内外の造成工事において、一部沈下終息に時間を要していることから、1.28haの余盛撤去を減工するもの。
議案第123号	財産の取得(東名地区コミュニティ道路整備事業用地)について …東日本大震災後、利用不可となった東名～野蒜までのJR鉄道用地を取得し、歩行者、自転車のコミュニティ道路とし、市民の健康づくりに活用するもの。
議案第124号	字の区域を変更することについて …宮城県から県営ほ場整備事業東小松地区の区画整理の完成に伴い、農地や道路、水路の字の区域の変更申請書が提出されたことにより変更を行うもの。
議案第132号	仙石線陸前赤井・石巻あゆみ野間排水函渠線路下横断工事に関する基本協定の締結について …赤井地区の排水路工事で、JR仙石線陸前赤井～石巻あゆみ野間の線路下を横断することに伴う基本協定の締結で、施工延長21.9mをBOXカルバート設置により行うもの。



▲東名地区コミュニティ道路整備事業用地(議案第123号)
旧仙石線跡地、左:亀岡西地区のトンネル跡、右:旧野蒜駅付近の切通し

▲下水道整備が進む建設中の柳の目西災害公営住宅(議案第118号)

他議会からの視察来庁



10月18日 静岡県議会危機管理くらし環境委員会 議員16名
「東松島市スマート防災エコタウンについて」

10月31日 那須烏山市議会(栃木県)文教福祉常任委員会 議員6名
①「コミュニティ・スクールの取り組みについて」
②「宮野森小学校での取り組みについて」

10月31日 呉市議会(広島県)市民フォーラム(会派) 議員3名
「東日本大震災後の復興への取り組みについて」

13議員が 市政をたずね

一般質問は、議員が本市の一般事務に関する質問を行ったり、政策提言を行うことなどを言います。議論の様子は録画中継でもご覧になれます。

議会中継はこちらから

東松島市議会映像

検索

<http://www.higashimatsushima-city.stream.jfit.co.jp/>

- ①住民要望からの課題について検討状況を伺う
- ②大塩小学校の土砂災害特別警戒区域指定による対策を検討せよ
- ③職員の提案力を行政に反映し、優良提案には職員表彰せよ
土井 光正 P 6
- ①職員の人材育成について
- ②浜市漁港の航路対策について
石森 晃寿 P 7
- ①学力向上施策を提案する
- ②オリンピック聖火受け入れとホストタウンへの受け入れ準備態勢整備について
上田 勉 P 7
- ①給食の在り方について問う
- ②女性に意識向上の機会を与えよ
阿部としる P 8
- ①今後の本市の行財政改革について
小野 恵章 P 8
- ①市内各小学校高学年からの制服導入について
- ②鳴瀬桜華小学校の新校舎建設に伴う地域住民への周知方について
手代木せつ子 P 9
- ①自治会制度導入後の現状はいかに
- ②市民向けの予算説明書を作成せよ
大橋 博之 P 9
- ①観光振興について
滝 健一 P10
- ①被災者医療費等一部負担金の免除継続について
- ②家族経営や小規模でがんばる農家への独自支援を
長谷川 博 P10
- ①オリンピックを契機にスポーツを活用した地域づくりの取り組みを推進せよ
- ②市職員の中で女性管理職の割合を高めることについて
櫻井 政文 P11
- ①これまでの質問の検証を含め今後の取り組みについて伺う
小野 幸男 P11
- ①本市への移住・定住・永住の施策を図れ
五ノ井惣一郎 P12
- ①本市の今後の財政見通しを問う
佐藤 富夫 P12



土井 光正 議員

- 1、住民要望からの課題について検討状況を伺う
- 2、大塩小学校の土砂災害特別警戒区域指定による対策を検討せよ
- 3、職員の提案力を行政に反映し、優良提案には職員表彰せよ

Q 大塩小学校の土石流災害対策を

A 対策検討を県に要望している

Q 住民要望からの課題について、これまで行った一般質問の中から次の検討状況を伺う。

①「あおい」と「野蒜ヶ丘」の集団移転団地で案内板のわかりやすい表示への見直しや丁目境の区分が確認できる案内板設置の検討状況について。

②家族を介護する方への

Q 住民要望からの課題について、この

介護貢献奨励金（仮称）の検討状況について。

③矢本歩道橋撤去による通行の安全確保について関係機関との協議経過および検討状況は。

A 市長 ①あおい地区集合住宅脇の市営住宅案内板に、市営住宅の部屋番号および一般住宅の住所番号と一く三丁目区分の色分けを追記した。

野蒜ヶ丘地区については、全体案内図を各丁目ごとに1カ所ずつ、計3カ所設置し、丁目境を認める状態とした。



した。

さらに、あおい地区の各丁目境には、「市営あおい住宅」と表した青色の案内板4カ所の余白部分に「三丁目区分を追記した。

野蒜ヶ丘地区については、全体案内図を各丁目ごとに1カ所ずつ、計3カ所設置し、丁目境を認める状態とした。

②家族を介護する方への奨励金支給制度として、「東松島市家族介護慰労金支給要綱」を今年11月1日に施行し、条件により、年額10万円を支給する支援体制を整えた。

③国土交通省仙台河川国道事務所に歩道橋撤去による交差点周辺の道路環境の改善について要望している。今後、学校関係者、地域住民との合意形成を図り、国に継続的に要望する。また、横断歩道等についても協議する。



▲土石流発生の危険がある大塩小学校



上田 勉 議員

- 1、学力向上施策を提案する
- 2、オリンピック聖火受け入れとホストタウンへの受け入れ準備態勢整備について



▲航路対策が期待される浜市漁港

- ① CRTの分析と改善
- ② 教育力向上に資する学校現場の指導
- ③ キャリア教育の実践成

Q 学力向上施策を提言する

A 教育指導監を配置する

一、学力向上策の具現策として教育専門監制度の導入および全国標準学力検査(CRT)の分析と学力向上成果を重視した検討会等の実施など、次の事項について問う。

- ① CRTの分析と改善
- ② 教育力向上に資する学校現場の指導
- ③ キャリア教育の実践成

A 教育長 一―① CRTの結果を踏



石森 晃寿 議員

- 1、職員の人材育成について
- 2、浜市漁港の航路対策について

Q 東日本大震災以降、浜市漁港内に堆積した土砂については、平成30年4月に撤去工事が完了し、航路の安全は、確保されたと思うが、ほとんどの漁業者の方は、いまだに他港へ漁船を停泊して、漁業を続けている現状にある。

① 浜市漁港周辺地形モニタリング調査により、航

Q 浜市漁港の航路対策について

A 推砂状況も確認しながら検討

路の砂の堆砂は、どのようになっているか。

② 航路部分を含めた、浜市漁港施設の維持管理のための機能保全計画は、策定できたか。

策定した場合は、計画的な維持管理に努めるとなっているが、その対策について問う。

A 市長 ① 砂州復元 工事完了から3カ月経過までの地形変化の調査として地形モニタリング調査を行っている。調査の結果としては、砂州地形は、維持され、浜市漁港内の停泊地の水深も確保された結果となっている。

② 浜市漁港施設の維持管理のための機能保全計画



まえ、改善策や研究会を充実する。

A 市長 一―② 教育の専門を担う指導監を配置し、教育力向上を組織的に拡大する。

一―③ コミュニティスクール制度を活用し教育内容を充実するとともに、トップレベルを目指す。

二―① 3月22日松島基地に到着するが、その後の

② 聖火到着後は、被災3県(岩手・宮城・福島)で二日間ずつ「復興の火」として展示する。

6月20日～22日のうち一日、市内で聖火リレーが行われる予定。

二―③ 応援ツアーの実施や出場選手などを招待する。デンマーク王国とは、文化交流、中学世代の相互交流等を継続する。



については、今年の9月に策定を完結しており、その中で浜市漁港の計画的な維持管理に努めていくこととしているが、具体的な対応については、推砂状況も確認するとともに、浜市漁港を母港としている漁業者の方の意見を聞き取りながら、慎重に検討する必要があると考えている。



▲教師の指導力の向上を図る研修の充実



小野 恵章 議員

1、今後の本市の行財政改革について

Q 本市の今後の行財政改革について

A 市長 ①被災者に寄り添った心の復興、コミュニケーション維持に継続し取り組む必要のほか、地方創生やSDG

Q 上町学供エレベーター調査設計費を計上

A 本市の今後の行財政改革について

s[×]の取り組みの一層の推進等、情勢変化に対応することが重要だ。復興事業の完結に伴い派遣、任期付職員等相当数減少が見込まれる。

各分野での環境変化を踏まえ、限られた人員の効率的配置、機動的な体制の確保が重要と捉え全体的見直しを行い、再編する考えだ。

②野蒜、宮戸市民センターについては、地域住民と調整を図り一元化や統合も含め、効率的な地域活動拠点の在り方について検討していく。

まちづくり交付金については、行財政改革の観点から見直しが必要。

上町学習等供用施設のエレベーター設置については、東北防衛局とも協

議し、設置の方向で、今定例会において、調査および実施設計業務費用を計上。

③公共施設の長寿命化を含めて、庁舎建設に向けた検討組織や庁舎建設基金の創設について、慎重に検討していく。

A 教育長 ④オルレ奥松島コースのオープンには、里浜貝塚や縄文村の魅力発信につながる絶好の機会と捉え、連携した効果的かつ戦略的な整備と発信に努める。



▲オルレ観光で縄文村の活性化を



▲おいしい給食をありがとう

1、給食の在り方について問う
2、女性に意識向上の機会を与えよ



阿部としゑ 議員

Q 給食の「栄養不足」や給食費値上げ「やむなし」の報道を見聞きして本市の給食について心配の声を寄せられている。

安い給食費で栄養価が高くおいしい給食を提供しているのは素晴らしいと思う。しかし、新聞によると給食の栄養摂取量の不足が取り上げられて

いる。本市の現状は。食育の面から国産や地産地消にこだわっていると思うが外国産の使用に對しての考え方。食べ残しの問題。今後の給食の在り方、値上げについて。

A 市長、教育長 東松島市の11小学校の学校給食で、鉄や食物繊維などの栄養素が国の基準を満たしていない。

摂取基準に達しなかった要因について、「近年の異常気象や自然災害で食材が高騰し、材料確保に苦慮している。」

基準に満たない栄養素については、充足率が約85%以上でおおむね満たしている。

鉄分やカルシウム入りの栄養強化食品を利用し、

献立内容を工夫して充足率を満たせるよう努める。食材の選定は、東松島産、宮城県産、次に国産、どうしても対応が困難な魚などの場合に、外国産を使用する。

食に関する指導を行い、残食率の改善に取り組む。来年度の給食費は据え置く方針。

20年度以降については、栄養素の充足が難しくなれば、値上げを含めて検討せざるを得ない。

Q 給食の在り方について問う
A 栄養強化食品を利用し工夫する





大橋 博之 議員

- 1、自治会制度導入後の現状は
いかに
- 2、市民向けの予算説明書を作
成せよ



▲はかま着用での卒業式と鳴瀬桜華小移転に係る造成工事現場

Q 平成29年第2回
定例会においてそ
の年の4月よりスタート
した自治会制度へのより
良い提言になればと思い
一般質問をした。

その後多くの課題が見
えてきた。現在の取り組
み状況について次の7項
目について伺う。

①8つの市民センターと
の整合性について②自治

会活動においての自主財
源の確保の現状について
③自治会制度が充実する
ための市職員のかかわり
方について④自治会単位
の規模の妥当性について
⑤現在の役員体制で充分
か⑥旧行政区単位からの
自治会制度への移行はス
ムーズか⑦第2期東松島
市地域福祉推進計画の中
で自治会の役割が重要に

なると提言されているが
体制づくりはいかに。

A 市長 ①各地域の
住民と調整を図りながら
一元化や統合などの見直
しの検討が必要②積極的
に取り組んでいる事例は
あまり見受けられない③部課
長会議などにおいて地域
の行事には積極的に参加
してほしいと呼びかけて

いる④ガイドラインでは
概ね250世帯。将来の
人口減少や高齢化も見据
えガイドラインの規模で
の運営を推奨する⑤各地
区において交付金を活用
し適正な人員が配置され
ている⑥地域の特徴を活
かし活動。おおむねス
ムーズに移行⑦地域住民が
抱える様々な生活課題に
気づく体制づくりと課題
解決のための専門機関等
との相互連携の強化が必
要と考えている。



▲住民自治の可能性を探ろう

Q 自治会制度導入後の現状は

A 住民自治の理念のもと改善していく



手代木せつ子 議員

- 1、市内各小学校高学年からの
制服導入について
- 2、鳴瀬桜華小学校の新校舎建
設に伴う地域住民への周知
方について

Q ①市内小学校の
卒業式における服
装がはかま着用等、年々
華やかさが増している。
子の負担、親の負担を考
えれば5年生からの制服
導入を提案するが、それ
に限りアンケート調査や
制服導入の際の助成支援
はないか。

②鳴瀬桜華小学校の新校
舎建設にあたり、工事の

進捗状況を定期的な現地
においての説明会の開催
や、新校舎完成模型の小
野市民センター等への展
示を希望するがいかがか。

A 市長 ①親の経済
負担も心配だが、
それ以上に家庭の経済的
事情ではかまを着られな
い少数の児童の心情が気
かりである。
5年生以上での制服導

新たな経済負担も心配
されるが、導入しても良
いのではないか。
アンケート調査も含め
て十分に学校と保護者の
皆様との意見交換が大事
と思っている。しかし、

市の助成支援については
難しい。

A 教育長 ①県内の
公立小学校での
制服導入はないが、問題
提起を含めて来年2月に
も保護者を対象に、卒業
式ではかま着用や制服
導入についてアンケート
を実施する予定である。
②小野市民センター等へ
の完成模型を常設展示は
難しいが、進捗状況が見
て取れる現場写真や完成
予想図を展示する等の対
応を検討する。

Q 小5からの制服導入の考えは

A 保護者アンケートを実施する





長谷川 博 議員

- 1、被災者医療費等一部負担金の免除継続について
- 2、家族経営や小規模でがんばる農家への独自支援を



▲オルレコースの起点として、集客、誘客の中心的役割が期待される

Q ①10月末、医療団体が行った災害公営住宅の訪問調査で、暮らしや健康、将来への不安がある、家賃や医療費など経済的に心配という声が出されている。

せめて、被災者が抱える健康面の不安について、経済的な心配をせずに医療機関を受診できるよう、国の制度を活用して負担

金免除を次年度も継続すべきだ。

②国の支援が大規模農家や法人経営にのみ集中、一方で中小・家族経営農家への支援は皆無。

本市の農業委員会提言でも、中小規模農家への支援を訴えている。

家族でがんばる農家の経営が持続できるよう、市独自の支援制度を事業

化すべきだ。

A 市長 ①被災者医療制度が来年度どうなるか現時点では不明。

年度末には災害公営住宅が全戸完成、一方で社保加入者は既に免除廃止となっている。

最大続けても32年度までか。

残った2市の動向も調

Q 被災者医療費負担免除の継続を

A 慎重に判断する時期に来ている



査したい。

継続・廃止は慎重に判断する時期に来ている。

②本市の基幹産業の農業において、中・小規模農家も重要な担い手との認識だ。

しかし、市独自の支援は財政的に厳しく、支援策の拡充について国や県に要望をしている。



▲被災により暮らしは厳しく、健康面や医療費負担が心配



滝 健一 議員

- 1、観光振興について

Q 観光振興のための総合戦略は

A 観光関連産業が潤うようにする



Q 本市の観光客数は、東日本大震災で最盛期の25%程に落ち込み、その後回復傾向にあるが、宮城オルレ奥松島コースオープン以前で50%程度に留まっている。

観光振興策は観光環境や観光客のニーズの変化等により新たな対応を考える必要があるが、次の件を伺う。①本市の人口は

このままでは、21年後3万3千人台に減少する見通しとなっていることから、観光交流人口の拡大がとても重要である。

その総合戦略は。②10月8日オープンした、宮城オルレ奥松島コースの集客や管理、運営上の課題は。③観光資源を活用した滞在型観光への取り組みをどう進めるか。

A 市長 ①交流人口の拡大が地域の活性化につながると捉え、多様な観光施策に取り組んでいる。今後も観光エージェントや市内観光関係団体、国、県、関係自治体と連携し、本市の魅力を発信し交流人口の拡大を図る。②市観光物産協会と連携したイベントの開催や、外国人向け誘

客プロモーションで誘客につなげる。管理運営ではコース誘導の強化や地元住民による来訪者声かけ、案内ガイドの育成確保など、来訪者受入環境の充実を図り、一層の集客拡大に努める。③滞在型観光は宿泊施設や観光施設の整備、観光メニューの充実が必要であり、いずれも現在整備中であり、今後も市内観光関連産業が潤う取り組みを進める。



小野 幸男 議員

- 1、これまでの質問の検証を含め今後の取り組みについて伺う

① ナマコの養殖とサケの孵化場の早急なる改善策を伺う。
 ② 浜市小の利用計画は、現状のままか、新たな取り組みは思案中か伺う。
 ③ 市のストックマネジメントにおいての、方向性の検討された進捗を伺う。
 ④ 予算がかかるセルコホームあおみなと農林施設の来年度の削減策を伺う。

⑤ 観光拠点としての公社の運営の意気込みと里浜地区のオルレに関する住民説明会の対応を伺う。
 ⑥ 副市長2人制による効果と職員とのコミュニケーションは万全か。
 ⑦ 学力向上は至難の業と受け止め、東松島市に移住したい方を含め、学力向上策の対応を伺う。

① 貴重な水産資源と認識する。また新たな水源も確保されるので、引き続き宮城県と協力し支援する。
 ② 11月2日に補助事業が採択され、(株)東松島ファームが来年度の夏頃までに本格的に開始される。
 ③ 財政状況が年々厳しい中で、将来的には地元負担も検討し、統廃合もま

ちづくりと整合を図りながら進める考えである。
 ④ 補助事業の制限があり効率的運営ができるよう経費削減に努める。
 ⑤ 奥松島公社の収益向上の機会と考え、取り組みを促し、また地元説明会は早急に調整する。
 ⑥ 公約実現のために全身全霊をもって公務に当たり、責任を持って頑張る。
 ⑦ 勉強・目標・夢の実現の時間を決めて勉強する子供を増やしていく。



▲複合施設の各団体が一体となった取り組みでさらなる集客と公社の運営に期待



▲東京オリンピックを契機にスポーツによる地域づくりを！



櫻井 政文 議員

- 1、オリンピックを契機にスポーツを活用した地域づくりの取り組みを推進せよ
- 2、市職員の中で女性管理職の割合を高めることについて

① 2020年東京オリンピック・パラリンピック競技会の聖火が同年3月20日に松島基地到着という慶事が当市にもたらされた。この明るい話題をスポーツを活用した地域づくり推進のチャンスと捉えたい。そこで以下の所見を伺う。スポーツを通しての交流人口の拡大は。日本体育

大学やタイケン学園との事業連携は。本町35号線の商店街活性化のためのニュースポーツ実施は。マイナースポーツ振興による当市からのオリンピック選手輩出案は。市民大運動会開催について
 ② 女性管理職登用について人事評価は公平か。女性の昇進意欲を高める職場環境づくりは。

市長・教育長
 ① スポーツを活用した誘客は観光振興に必要な視点。デンマークとの「復興ありがとうホストタウン」などを活用し本市の発信をしていく。日本体育大学やタイケン学園とはアスリートを招き、スポーツ振興を図っている。
 ニュースポーツによる

商店街活性化は地域が実施したい意向が示されれば支援したい。当市からオリンピック選手輩出案については慎重に検討したい。
 市民運動会開催については各地域の負担増を懸念している。
 ② 人事評価については性別に係わらず公平に評価している。職場環境づくりは研修や職場内のコミュニケーションを図り、人材育成にも尽力する。

Q スポーツによる地域づくりを！

A 観光振興や市のPRに繋げる



Q これまでの質問の検証を伺う

A 役割りと責任を持って取り組む





佐藤 富夫 議員

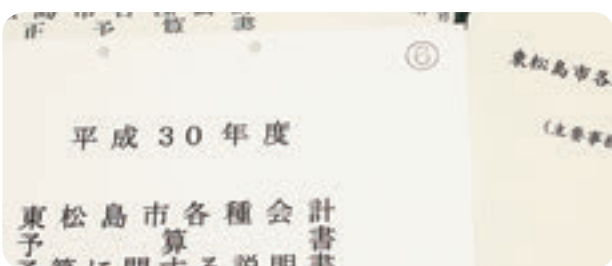
1、本市の今後の財政見通しを問う

Q ①2020年に訪れる復興予算の停止、臨時財政特別債の廃止、本市の借金（地方債）の償還、基金の枯渇、税収の横ばい等々、近い将来の本市財政は厳しい状況にある。加えて臨時職員の正規雇用、福祉政策等、市民サービスへの一般財源の持ち出しなどますます経費が増えるこ

A 市長 ①財政状況については、議員

の言う通りと認識している。2020年の通常ベ

的検討はしていないが雇



▲限りある財源、創意工夫で行財政改革を進め住民サービス低下のないように政策を進めよ

平成31年2月1日発行



▲市内に移住・定住・永住者が増加する取り組みを（野蒜ヶ丘地区）



五ノ井惣一郎 議員

1、本市への移住・定住・永住の施策を図れ

Q 速な進展により市政を取り巻く環境は大きく変化し、東日本大震災では多くのものが奪い去られたが、市民と行政が一体となり、復旧・復興に取り組み、新しいまちづくりに進出し、各事業の完結と「少子高齢化・定住化対策・交流人口増加」等の地方創生総合戦

略の実現に向けて傾注している。本市は8駅・3

人口減少対策・地方創生の実現のため、企業誘致や子育て支援をはじめさまざまな取り組みを進めている。具体的

援等々。また子育てしやすく住みやすいまちづくりに向け、民間保育所の誘致・雇用創出に向け、企業立地優遇制度の拡充や創業支援補助制度を新設等、今後も人口減少対策と地方創生の実現に向けて努力する。

Q 移住・定住・永住の施策を図れ

A 「相談窓口」の常設を検討する



総務常任委員会 行政視察

デマンドバスについて

最近、運転免許証返納や買い物弱者等という言葉をテレビや新聞等から聞きやすくなることが多くなってきたと思う市民の方々も多いと思います。そこで、買物や病院等の通院に使う手段として、東松島市では、らくらく号を運行していますが、

安くて便利で使い勝手が良いという交通手段が一般的には求められますが、本来、タダより高いものはないという言葉があるように運賃を安くしてもその分税金で補填しなければなりません。限りある税金ですから有効に活用するために全国の自治



▲京都府京丹後市、実際に乗車利用しました



▲兵庫県豊岡市、住民主導の乗合タクシーを視察

総務常任委員会	
委員長	熊谷 昌崇
副委員長	五ノ井 惣一郎
委員	石森 晃寿
委員	土井 光正
委員	小野 幸男

体もいかにして交通弱者対策をすべきかを模索しています。そこで、先進地である京都府京丹後市と兵庫県豊岡市に10月10日から12日に行政視察を行いました。まず、京丹後市ではアメリカで生まれたウーバーというスマートフォン等の配車アプリを利用した個人の所有する車の相乗りの取り組みを視察し、実際に利用しました。また、豊岡市ではチクタクという住民主導の乗り合いタクシーの取り組みの説明を受けましたが、どちらの取り組みも地域住民の方々のボランティア的な取り組みで成り立っています。近い将来、東松島市においても、らくらく号の運行が運営的に厳しい場合、参考にするべき、取り組みだと思われました。

議会運営および活動状況 平成30年9月以降



9月6日	広報常任委員会	20日	最上川さくら回廊事業植樹式典、石巻祥心会地域交流祭
9日	小分木自治会敬老会		鳴瀬桜華小学校学芸会
11日	総務常任委員会	21日	鳴瀬未来中学校文化祭
12日	議会運営委員会	22日	いきいき百歳体操 (小野地区)
14日	平成30年北海道胆振東部地震に係る派遣職員の出発式 産業建設常任委員会、財務常任委員会	24日	いきいき百歳体操 (赤井地区)
16日	あおい地区敬老会、表地区敬老会		平成30年度東松島市なかよし音楽会
18日	客船「ダイヤモンド・プリンセス」入港歓迎式典	27日	東松島高校文化祭、赤井南小学校運動会、あすなる発表会
19日	東松島市まちづくり応援団通常総会 産業建設常任委員会	28日	第28回豊前市カラス天狗祭り
20日	財務常任委員会、議会運営委員会	29日	石巻商工会議所創立70周年記念式典
21日	平成30年秋の交通安全運動出動式	30日	2018 東松島市ライオンズ旗争奪 U-10 フットサル大会
23日	矢本はなぶさ幼稚園運動会		東松島市火葬場完成式 (仮称) 日本ウェルネス宮城高等学校の設置に関する基本協定書締結式
26日	民生教育常任委員会、財務常任委員会 議会運営委員会、議員全員説明会	10/30~11/2	2018 済州オルレウオーキングフェスティバル 東北市議会議長会
27日	平成30年コミュニティ・スクール研修会	11月1日	全国市議会議長会基地協議会東北部会
28日	広報常任委員会	3日	OTA ふれあいフェスタ友好都市セレモニー
29日	矢本中央幼稚園運動会、大塩保育所運動会、鳴瀬幼稚園運動会 客船「にっぽん丸」入港歓迎式典	4日	東松島市小野地域ふるさと交流会オープニングセレモニー 小野地域ふるさと愛あいまつり、上下堤そばまつり
30日	松島医療生活協同組合 2018 年健康まつり 名取市市制施行60周年記念式典 まるごと大曲ふれあいまつり	7日	平成30年度江合・鳴瀬・吉田川水系改修促進期成同盟会要望会
10月1日	角田市市制施行60周年記念式典	10日	矢本中央幼稚園おゆうぎ会
4日	議員定数と報酬等並びに政治倫理のあり方に関する特別委員会	11日	全国きもの装いコンテスト・きものフェスティバル東北大会
5日	広報常任委員会	12日	全国市議会議長会基地協議会
6日	宮野森小学校学芸会、ぎんの星きのご祭り	13日	民生教育常任委員会
7日	宮城オルレ「奥松島コース」オープン祝賀会	14日~15日	全国市議会議長会 (研究フォーラム in 宇都宮)
8日	第7回東松島市長杯地域交流パークゴルフ大会 第47回若鷹旗争奪少年野球大会 第13回東松島市長杯争奪男子ソフトボール大会 宮城オルレオープンセレモニー	16日	広報常任委員会
10日~12日	総務常任委員会行政視察 (京都府京丹後市・兵庫県豊岡市)		平成30年度第3回東松島市議会懇談会 (民生委員児童委員協議会)
13日	赤井小学校学習発表会	17日	一般国道398号石巻バイパスⅡ期 (大瓜工区) 開通式
14日	第7回石巻地区少年剣道大会、のびる秋まつり 第10回「矢本西地区の日」 矢本第二中学校文化祭、第17回港湾感謝祭	19日	あおい農園収穫祭
15日	民生教育常任委員会、広報常任委員会、議員全員説明会	20日	民生教育常任委員会
16日	第41回全国土地改良大会宮城大会 宮城県市議会議長会	21日	議会運営委員会
18日	いきいき百歳体操 (矢本地区)	21日	「奥松島クラブハウス (仮称) 建立」安全祈願祭
19日	石巻・酒田間地域高規格道路整備促進に関する懇談会	23日	市政功労者表彰式
20日	第13回ひがしまつしまし市民文化祭開会セレモニー 大塩小学校学芸会、矢本西小学校学習発表会 第18回ぎんの星きのご祭り	24日	東松島農園「綿花の収穫祭」
		25日	第51回東松島クロスカントリー大会 矢本西コミュニティ協議会サルビア植栽事業の反省会
		30日	KDDI株式会社、株式会社KDDI総合研究所、株式会社KDDIエボルバとの協定締結式
		12月1日	矢本東小学校学芸会
		2日	第23回ヤックンカップ争奪家庭バレーボール大会 鳴瀬幼稚園クリスマスお祝い会 第7回東松島市観光と物産のPR会 & かき祭り
		3日	矢本はなぶさ幼稚園第35回クリスマスお遊戯会 議会運営委員会
		5日	鮫ヶ浦水曜日郵便局開局イベント

平成 30 年 11 月 16 日、市コミュニティセンターで民生委員児童委員協議会の代表委員 13 名と議会懇談会を行いました。

今回は協議会に対して「東松島市に居住して不自由および不足に感じること」と「市政に関しての自由意見」という二つのテーマで事前にアンケートを実施し、協議会から寄せられた 38 項目の質疑事項に議員が回答しました。

議会側からは阿部勝徳議長と広報常任委員会委員が出席しました。

会議は熊谷昌崇委員が司会を務め、阿部勝徳議長のあいさつに始まり、櫻井政文副委員長から市議会について紹介、出席委員のあいさつ、事前質疑に回答、自由意見の交換、小野幸男委員長の閉会のあいさつの流れで進行了しました。

答弁に関しては質疑事項を所管している常任委員会代表の熊谷昌崇委員（総務常任委員長）、上田勉委員（民生教育常任委員長）、大橋博之委員（産業建設常任委員長）が主に務めました。

民生委員児童委員から「各地区センターの老朽化」「高齢者中心の買い物難民」「集団移転団地のコミュニティの形成」「子育て世代の移住に影響する当市の学力低迷問題」などの多様な意見が提議され、活発な議論がなされました。

普段から住民と密接に接している民生委員児童委員ならではの意見を拝聴し、大変、有意義な懇談会となりました。ここでは、質疑事項を抜粋して掲載します。



▲阿部勝徳議長、開会あいさつ
日頃の活動に敬意を表しました



▲小野幸男委員長、閉会あいさつ
活発な質疑、意見交換に感謝

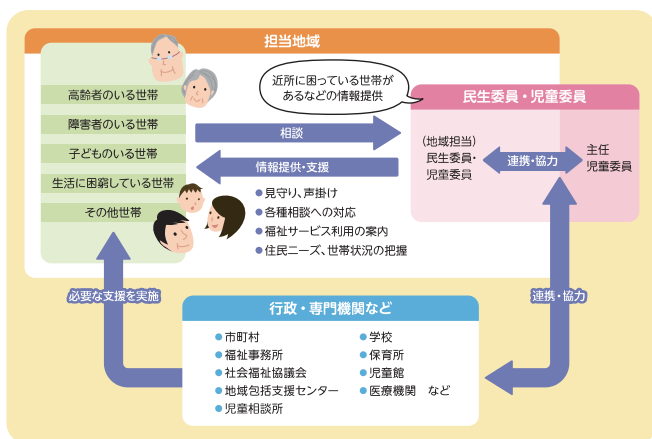
テーマ1 東松島市に居住していて不自由および不足に感じること

質疑事項	回 答
地区センターの老朽化 日頃の活動に不便。耐震性も確保されていない。水没地域にセンターがある。各施設の見直しが必要。	実は、どの地区センターも老朽化している。3 線堤はシミュレーション済みなので、まずは、避難することを考えてほしい。予算の関係もあり、年次計画を立て、順次検討。 9 条交付金があり、建てやすいが、維持費がない。少子高齢化で、人口が減るということは、税収も減るということ。今のペースでいくと、10 年後には、東松島市が財政再建団体になるかもしれない。財政再建団体になってしまうと、例えば、ごみの収集も週 2 回から月 1 回になるかもしれない。 総務常任委員会でストックマネジメントについて所管事務調査を行った結果、東松島市は、岩沼市と比較して、3 倍から 4 倍多くの集会所があることを把握した。沿岸部は、復興予算で地区センター等の整備について対処してきたが、内陸部はそのままなので、今後、維持管理が必要になってくる。旧鳴瀬町は、地域で維持していた。今後、平成 32 年度以降、復興予算がなくなり、現状維持を市でするのは難しい。 統合も含めて、新しい建物を市でつくり、維持費は地域で持つという形をとらないといけないということを考える時期に来ており、所管部署には、地域の声を聞くように促している。
防災無線の事後放送について 火事の出火や探し人の協力依頼等の放送はあるが、鎮火や見つかった等の事後の放送がないのでしてほしい。	基本、火災等の消防団員の招集に使用する。また夜間の放送だとうるさいと感じる方がいる問題もある。夕方 5 時の放送もうるさいという方がいるのも事実。しかし、起きていれば気になるものなので、担当課には伝える。 火災等の防災行政無線は、消防団員招集のためにやっている。市民の皆さまへの災害に関する情報は、自動音声による消防テレホンサービス（0180-992-911）をご利用いただきたい。（開催後、所管課調査内容）
公共交通 交通の便（公共のバス等）をよくしてほしい。「らくらく号」について、土、日、休日の運行は稼働できないものか。	「らくらく号」は、7 台で運行している。すぐ対応可能かは分からないが、要望があったことを伝える。 昨年度、『地域公共交通網形成計画』を策定し、今年度中には当該計画を具体化した『地域公共交通再編実施計画』を策定中である。「らくらく号」の今後のサービスの拡充については土曜日の病院の診療等に対応すべく、運航を検討している。（開催後、所管課調査内容）
老人ホームについて 他市町村では安く入れる施設があるようだが、東松島市でもできるだけ安く入れる施設を考えてほしい。	「安く入れる施設」とは、特別養護老人ホームだろうか。去年から地域包括支援センターが東部に加えて西部でも立ち上がっている。地域包括ケアシステムについて、福祉課、社会福祉協議会と一体となり考える必要がある。今年も民生教育常任委員会で調査したい。

質疑事項	回 答
<p>町浦住宅（矢本東保育所跡地に建設された市営住宅（復興住宅））への案内標示について</p> <p>住宅へ通じる入り口となる交差点に案内標示板の設置を願う。</p>	<p>元の矢本東保育所跡地に建設されたが、わかりにくいのは、ご指摘の通り。市内の全ての復興住宅の整備完了後に、新たな管理計画を策定する。個別の住宅の場所について、案内標示されるよう、担当課に伝える。</p> <p>標示板の設置については、適度な場所が民有地であり、設置交渉が円滑にいった場合に設置の可能性がある。（開催後、所管課調査内容）</p>
<p>歩道整備</p> <p>歩道の側溝のフタがガタガタで歩きにくく、危険である。</p> <p>また、ヨークベニマルの出口に段差があり、危険である。（カートで転んだ）</p>	<p>建設課には、いろいろな問題点についてはお願いし、直してもらっている。議員に言っていただいてもいいし、直接、建設課に相談でもいい。</p>

テーマ2 市政に関する自由意見

質疑事項	回 答
<p>「住民本位の行政」という基本姿勢について市職員の本気度が疑問</p> <p>住民からの意見要望に対しては、何々だからできないという回答がくる。市議会議員から同じ意見要望を出すと即実行するという事実があった。住民からの意見要望は軽んじるという姿勢が見え隠れしていることが心配。</p>	<p>誰からの要望についても聞くように、また説明責任を果たすように市の職員に伝える。</p> <p>不快な思いをさせて申し訳ない。市長から市民の相談には丁寧に対応できるように指示されており、誰からの要望にも分け隔てなく対応させていただく。（開催後、所管課調査内容）</p>
<p>市議会議員へ要望</p> <p>議員の方々には、より地域活動、行事に入って実情を知ってほしい。</p>	<p>そのとおりである。</p> <p>各議員が市からの案内に、どの程度出席しているか公表すべきと議会内で検討している。</p>
<p>野蒜の慰霊碑の周辺の土地管理</p> <p>慰霊碑のすぐ近くはきれいだが、周辺の土地に草が生い茂っている。管理はどのようになっているのか。</p>	<p>契約上、周辺の買い上げした部分の土地は、市で除草すべきであるが、予算の関係で年1回しか草を刈れない。民家の周辺は要望あれば年に2回。しかし、人が少ない宮戸地区では、刈られないので、自分で草刈りしている状況。目に入るところだけの管理になっているので、市で責任もって管理させたい。</p> <p>今後については、各担当課で調整して鋭意、環境整備に努める。（開催後、所管課調査内容）</p>
<p>矢本西集団移転地のコミュニティ形成について</p> <p>二反走の集団移転地のコミュニティ形成がなかなか難しい。従来から居住していた地区の住民と市内各地から移転してきた住民との関係性。</p>	<p>移転先ではコミュニティが希薄である。協力していく体制づくりへの努力が必要かと思う。すでに活動していただいているが、市民に身近な民生委員児童委員の皆さんにもさらにお力をお借りしたい。</p> <p>状況は聞いている。所管の市民協働課とも相談しなければいけないと思っている。</p> <p>現状、改善されてきていると状況把握しているが、今後は、状況を見ながら随時、対応していく。（開催後、所管課調査内容）</p>
<p>東松島市の学力について</p> <p>若い子育て世代、中でも東松島市出身の子育て世代が、市内に住みたくないという声を聞いている。18歳までの子ども医療費の助成など、本市は大変助かるのだが、市内の学校の学力が低くて印象が悪く影響している。</p>	<p>学力については、毎回のように教育長に一般質問しているが、ゴール、目標の設定について、なかなか言明しようとならない現状がある。学力が高い先進地として秋田県の自治体など、議会の会派で視察も行っている。また国語力が重要であるということも提言している。学校は特殊な現場であり、民間の校長等の導入は消極的である。</p>



▲民生委員児童委員の活動イメージ図
福祉行政と地域住民のつなぎ役として重要な役割を担っています



▲非常に熱心な質疑、意見交換がありました

傍聴者インタビュー



佐藤太一さん
(赤井、南五)

平成30年 第1～4回定例会を傍聴して

議会傍聴が趣味故、本市議会は定例会の都度、一度は傍聴し、また県議会や近隣の松島や女川の議会も傍聴しております。

自らの生活に関わる議題以外の諸施策や課題は議会をもって把握しますし、今は次代を見据えた『ポスト震災復興』となる産業施策に関心を持ち傍聴しています。

英国の法学者J・プライスは「地方自治は民主主義の学校である」と述べましたが、在所自治体の要である議会がいかに機能しているか見つめることも有権者・市民の肝要な責務と考えます。

○●議会を傍聴してみませんか●○

定例会は、年4回(2月・6月・9月・12月)開催されます。市民の皆さんに深く関わりのある議案が審議されます。皆さまお誘いあわせの上、ぜひ傍聴にお越しください。(矢本庁舎3階の議場へ直接お越しください。受付簿へ住所、氏名の記載のみで入場できます。)

また、市議会では、インターネットによる中継を行っています。議場で行われる本会議を生中継や録画映像で視聴できます。

※録画映像は、生中継終了後5日程度(土・日・祝日その他閉庁日を除く)でご覧になれます。

2月定例会日程(予定)のお知らせ

- 2月14日(木) 10時00分～ 本会議(議案審議等)
 - 2月18日(月) 10時00分～ 本会議(一般質問)
 - 2月19日(火) 10時00分～ 本会議(一般質問)
 - 2月20日(水) 10時00分～ 本会議(一般質問)
 - 2月22日(金) 10時00分～ 本会議(会派代表質問)
 - 2月25日(月) 10時00分～ 本会議(当初予算総括質疑等)
 - 3月4日(月) 10時00分～ 本会議(議案審議等)
 - 3月8日(金) 13時30分～ 本会議(議案審議等)
- ※変更の場合がありますので、詳しくは市議会ウェブサイトをご覧ください。



議会日程ウェブサイトQRコード



議会中継はこちらから

東松島市議会映像

検索

お問い合わせ 議会事務局

☎ 0225-82-1111 (内線 1311-1314)

<http://www.higashimatsushima-city.stream.jfit.co.jp/>

持続可能なまちづくりを

政府は優れた取り組みを提案した全国29自治体を、「SDGs(エス・ディ・ジーズ)未来都市」として選定。宮城県からは唯一、東松島市が選ばれました。

今回お届けする議会だよりでは、記事の内容に関連する持続可能な世界を実現するための17の目標のロゴを記事に添えて掲載しました。

(一般質問の記事含め、広報常任委員会がロゴを選択しました。)



編集後記

あけましておめでとうございます。本年も東松島市議会をよろしくお願ひいたします。

今年は元号が改まる特別な年です。元号の一番最初のものは、日本書紀によると大化の改新(645年)の時に用いられた『大化』が最初であるとされています。

新しい元号は今年の4月1日に公表して、5月1日に改元するそうです。市民の皆様の平成時代についての思い出を懐かしむ良い機会になるかもしれませんね。

(熊谷 昌崇)

- | | | | | | | | |
|-------|-------|-------|---------|------|-------|-------|---------|
| 委員 | 委員 | 委員 | 委員 | 委員 | 副委員長 | 委員長 | 広報常任委員会 |
| 熊谷 昌崇 | 大橋 博之 | 熱海 重徳 | 手代木 せつ子 | 上田 勉 | 櫻井 政文 | 小野 幸男 | |